

岩手県社会人クラブラグビーリーグ
「イーハトーブ（仮称）リーグ」
検討スタート記者会見

平成 19 年 2 月 1 日（木） 18:30

岩手県公会堂

岩手県ラグビーフットボール協会

同 クラブ委員会

釜石シーウェイブス R F C

岩手ラグビー復活のための

デベロップメントプラン「巖鷹 (仮称)」

ビジョン

- 岩手ラグビーの復興
- 効果的デベロップメントの実践
- 地域の誇りを再獲得

目標

- 地域の誇りとなるチームの強化
- 地域の活動支援
- 地域の資産活用促進
- 地域での情報の共有とグレードアップ
- 地域全ての年齢層でラグビースピリッツの共通理解
- ラグビーデベロップメントを活かした青少年の育成

新生 社会人クラブリーグの検討

イーハトーブリーグ (仮称)

活動目標 (案)

1. 岩手ラグビーのトッププレイヤーの強化
 - ・切磋琢磨の相乗効果
 - ・全国レベルへの参画
 - ・岩手一丸
2. 岩手ラグビーの水準の向上
 - ・トップからのフィードバック
 - ・技術レベル向上、競技運営レベル向上
 - ・デベロップメント仕組みづくり
 - ・日本全国、世界との交流
3. 岩手ラグビー拡大の牽引
 - ・空間創造
 - ・機会増
 - ・魅力伝播
4. 企業によるスポーツ振興と地域との協働によるスポーツ振興の達成
 - ・スポーツ支援、地域支援の仕組み整備
 - ・企業と地域のスポーツ文化振興のための環境づくり

概要 (案)

1. 岩手県代表チームをセレクションしてトップリーグに挑戦
2. 各地域を代表するクラブチーム同士の対戦により県内ラグビーを活性化
3. 県内リーグ優勝チームは次年度の東日本クラブ選手権に挑戦
4. 春季リーグ戦には釜石シーウェイブス現所属選手が参戦
5. 試合ごとに開催地で全ての年齢層を対象にしたラグビー祭の実施
6. セレクター、レフリー、メディカル、コーチングの各セクションでのカンファレンスを実施
7. 試合後に参加選手全てによるオールファンクションを実施
8. リーグ参加以外のチームにも毎年リーグ参入の機会を設定

参加チームと試合会場（案）



岩手県社会人クラブリーグ新生への検討スタート

岩手県ラグビーフットボール協会(以下 岩手県協会)では、昨年創設 80 周年を迎えましたことを契機に、岩手ラグビーの再興を目指し、各年代層を包括したデベロップメントのためのマスタープランの策定に着手してきました。

この度、デベロップメント計画の第1段階として、まずは社会人クラブを対象とした岩手県クラブリーグ(以下 県内リーグ)の見直しを行い、県内リーグを、従来通り東日本クラブ選手権の予選とすることに加えて、岩手県代表セレクションとして位置づけるという方向性をもって、各クラブ、各地区協会とともに、実行に向けた検討をはじめました。

現在、岩手県内で、ジャパンラグビートップリーグを目指してトップイーストリグ(東日本地域リーグ)に参戦している釜石シーウェイブスからも、全選手が県内リーグに参加し、一般のクラブに所属する選手と同様に、セレクションを通じて選ばれたプレーヤーたちが、ジャパンラグビートップリーグを頂点とする全国規模のラグビーの舞台に挑戦するという新たな形式の社会人クラブリーグの実現を目指しております。

県下広域でリーグ戦を展開することによって、岩手県ラグビー全体(全年齢層)の盛り上がりを期待するものです。

現時点では、各チーム内への説明会、さらにチーム間相互の検討会を進めており、2月中旬の新生岩手県ラグビーリーグの実施発表、さらに4月上旬のリーグ実施詳細の発表を、岩手県協会理事会、総会の決議とともに進行していく予定であります。

来る2月3日(土)より、釜石シーウェイブスの活動がスタートすることもあり、今般、それに連動した形での岩手県社会人クラブリーグ新生への検討スタートの発表とさせていただきます。

報道各位におかれましては、よろしくお取り扱いの程をお願い申し上げます。

新生クラブリーグ検討スタート記者会見 付加事項

- 1) 未決事項の掲載記事が事前に出されたことは残念である。
- 2) 関係各位には3日6チーム会議、11日全チーム会議、理事会、総会の決議をもって決定となるため、情報は県協会から直接お知らせしていく。
- 3) ただし、岩手県ラグビーを再興しようという気運は内外に高まっており、クラブチームがSWとともにこのような取り組みを開始したことは岩手県ラグビーひいては岩手県のスポーツ興隆のために、たいへん意義あるものとする。
- 4) 報道各社には然るべきタイミングで決定事項を共通にお知らせしていきたいので、今後ご協力をお願いしたい。
- 5) また今回の未決事項の記事掲載については、各チームの選手、関係者、岩手県ラグビーにかかわる全ての方々に、寝耳に水の状態であったことも予測され、関係各位にご迷惑をおかけして、たいへん申し訳なく、記者会見の場を借りてお詫びをしたい。